



空飛ぶチキンラーメン

見た瞬間に思い浮かんだ言葉を、今月のテーマにしてみました(日清食品や NHKのPRのつもりではありません)。

数年前のことです。大阪モノレールのラッピング車両に気づきました。「ひよこちゃん」が描かれたチキンラーメンの車両です。たまたま、その日は青空。地表から眺めたラッピング電車は「青い空を飛ぶチキンラーメン」に見えました。

半年くらい後に、熊本を訪ねました。信号待ちをしていると、チキンラーメン市電が交差点を曲がっていきました。線路と車輪が擦れ合う重たい音を聞きながら「地を這うチキンラーメン」をイメージしていました。

チキンラーメン発祥の地は、大阪北部の池田市。そこには、インスタントラーメン発明記念館があります。中国人留学生に聞くと、大阪に来たらず行く場所になっているとのこと。地元以上に、中国では有名な場所になっているようです。

町の人々は、チキンラーメンを町づくりに活かしています。地元の飲食店には「チキンラーメンあります」という謎の掲示。何らかの形でチキンラーメンを使ったメニューがあるという意味です。なかにはチキンラーメン・ソフトクリームといった名物も生まれつつあります。また、地元の阪急バスにも、ひよこちゃんがラッピングされたバスがあります。



中嶋哲夫の

「人事も歩けば」



▲空を駆け抜けるひよこちゃんラッピング車両

チキンラーメンの発売は昭和33(1958)年。日清食品創業者の安藤百福氏によって開発されました(現在放送中のNHK朝ドラのモデルが、安藤氏の奥様です)。まだ食糧事情がよくない時代です。とても美味しかったことを覚えています。「3分間待つんだよ」といわれながら、途中で箸をつけたことが何回もあります。筆者の同年代には、インスタント麺ならチキンラーメン、という人が少なくありません。もっとも、それが世界に波及するとは思いませんでした。

ラッピング電車はひとつのイノベーション。インスタント麺もイノベーション。「チキンラーメンあります」の掲示も町づくりのイノベーション。小さなアイデアが大きく育つこともある、最初に手がけた人の想像以上に。

空飛ぶチキンラーメンに念じたことです。
(MBO実践支援センター代表 大阪商業大学特任教授)